

三重県のNPOを応援する情報誌 リーダー

READER

2018

春号

通巻:224号
発行:2018.3.25

特集

「非営利」で稼ぐ

三重県のNPOを応援する情報誌 リーダー

READER

2018
春号

通巻：224号
発行：2018.3.25

特集

非営利で稼ぐ

東海ろうきん「子どもの未来応援寄付金」受賞

特定非営利活動法人くわな発達支援塾

特定非営利活動法人 JAMBOF（日本ミャンマー友情の架け橋）

ホーム医療ケアプロジェクト

SDGs の話 ～世界を変えるための 17 の目標～

テーマ：すべての人に健康と福祉を

NPO で働くみなさんへ

IT ツール紹介／三重県からのお知らせ／会計と労務／書籍の紹介

募集のご案内

インフォメーション

助成金情報、NPO 法人認証、編集後記

~~非営利＝無償奉仕~~

「稼ぐ」

NPO(非営利組織)は無償奉仕ではありません！

NPOは「非営利組織」と訳されます。「非営利」とは、組織で得た収益の余剰分を会員(社員)に分配せずに、組織の活動費用に充てることを言います。ただ、非営利という言葉のイメージや、NPOとボランティアの関係性を曖昧に理解されることもあり、未だに「非営利＝無償奉仕」と捉えている人も多く感じます。組織として社会課題に取り組むためには収益を上げてその活動を継続的に行う必要があります。そこで、今回の特集は「非営利で稼ぐ」をテーマに事業型NPOとして“稼ぐ”モデルケースをスタッフが取材しました。



NPO法人 呼夢・フレンズ

餃子やクッキー、野菜に石けんなどさまざまな商品を販売しているNPO法人 呼夢・フレンズさんは「障がいのある方の働く場所をつくろう」と、保護者やボランティアさんで協力しながら、平成18年に作業所（就労継続支援B型施設）「来夢」を開設しました。



楽しく働きながら、また買いたくなるような商品をつくる

作業所「来夢」では、楽しく働けて、生活が豊かになるようにとさまざまな業務をみんなで補いながら働いています。福祉・NPO関係だから…と思って商品を購入して下さる方もいると思います。始まりはそういった気持ちでも、「また買いたいな」、「おいしいな」としてもらえる魅力ある商品をこれからも作っていきたいと呼夢・フレンズのみなさんは力強くおっしゃっていました！どの商品も丁寧に真心を込めてつくってらっしゃいます。是非ご賞味ください！

自家農園で育てた野菜たっぷり無添加の餃子

1600坪に及ぶ自家農場「呼夢農場」では、約100種の野菜や果物を育てており、その野菜をふだんに使った商品を作っています！中でも低農薬・化学調味料無添加にこだわりの餃子は種類も豊富で人気の商品です。

自分たちの手で育てた野菜だからこそ、生地づくりから包む作業、販売、配達まで、皆が愛情を込めてお客様に届けています。ちなみに豚肉は、CSRの観点から地元「とんてきの松本来来憲」さんが提供してくださっているそうです。



酒粕、あおさチーズ、珍しいラインナップのクッキー

手作りのクッキーには、呼夢農場の野菜の他、三重の食材も使われています。宮の雪酒かすクッキーや、あおさチーズなど、他所では見られない珍しいラインナップが特徴で、「Sweets & Smile ～えがおになれるスイーツ～」を目指しています。また、見た目もすごく可愛いオリジナルデザインですのでギフトにもぴったりです！



NPO法人 呼夢・フレンズ

営業時間

平日 8:30～17:30

定休日

土曜・日曜・祝日

〒510-0835 三重県四日市市大井手3丁目15-19

TEL 059-355-1515

FAX 059-337-8988

Mail npo.comfriends@gmail.com



障がいのある方で、
働く意欲をお持ちの方
募集中です！

企業ロゴも入れられる“エコ石けん”

キッチンカーで使用した揚げ油を何度も何度も丁寧に濾して、みんなで手づくりしている石けんです。環境にも優しく、見た目が可愛いので記念品などによく使われています。企業ロゴなども入れられます。



NPO法人 マザーズライフサポーター

8割近くの母親が身の回りにあふれる「母親はこうあるべき」、「子育てにはこれが必要」という先入観にとらわれて苦しくなったり、小さな命を預かる大きな責任を1人で抱え込んで孤独を感じた事があると言われています。

マザーズライフサポーターでは「休んだり、頼ったり、働いたり、出かけたり」する居場所と情報の提供を通して、子育て中の母親の価値や可能性を見出し「子どもがいることが喜ばれる社会」の実現を目指しています。



ママが休める場

「nico mama café」では、専門スタッフにしっかり子どもを見守ってもらい安心して自分時間を過ごすことができます。1時間30分の「ママの自分時間」は仮眠をとったりママ同士で過ごしたり、もちろん子どもと一緒にキッズスペースで遊ぶこともできます。子どもから少し離れて過ごすことで常に子育ての責任感に追われてちょっと苦しいな…と感じているママに「休んでいいんだよ」と理解してもらい、社会に目を向けるステップに繋がっています。

ママが社会とつながる機会

ママと企業がつながる「nico lab・nico mama PR」では、様々なプロジェクトで母としてのスキルが活かされています。また、提携先の企業・農家のニーズをマザーズライフサポーターが拾い上げ、託児付きで働ける仕組みも作っています。メンバー同士がシフト調整をしながらワークシェアリングし、提携先とママ両方にうれしい「コラボワーク」で今では1000人以上のママ達がいきいき働いています。

ママ目線の情報発信、取材を通じた地域とのつながり

育児フリーペーパー「nico mama」は親子で街にできるきっかけづくりとして季刊発行されています。取材から編集まですべてを当事者のママたちが作っているため、子どもと行ける場所、店舗で使えるクーポンなど子育てママ目線の情報が満載で子どもと一緒にいこうかな！と楽しく読むことができます。現在は法人会員も100件を超え、地域からの共感を得ています。

子育て中だから、と引け目を感じたり消極的になってしまうのは幸せなことではありません。少しずつでも社会に関わり「与える幸せ」を感じて、ママでよかった！と思えるようになってほしいと思います。

地域に根ざし、ファンを増やして母親である事の価値を発信しているNPO法人マザーズライフサポーターの活動に興味を持たれた方はQRコードから団体HPやFacebookの情報をご覧ください！



子どもと母親が温かく迎えられる「子どもの存在を喜ぶ社会」の実現を目指して、母親が「子育てをしている私でよかった」と感じられる居場所づくりなどを行っています。現在は「nico mama café」、「nico lab」、「nico mama」などの活動を通して、子育てに孤独や苦しさを感じている母親に居場所と情報を提供しています。

理事長：伊藤理恵

NPO法人 マザーズライフサポーター

〒510-0205

三重県鈴鹿市稲生3-8-2

TEL 059-386-2539

Mail info@motherslife.info





NPO法人 はあぶ工房 Together

NPO法人 はあぶ工房 Togetherは、心の病・精神に疾患がある方や様々な障害のある方とともにハーブを無農薬・有機肥料で栽培し、そのハーブとシフォンケーキをメインにしたカフェを運営しています。



人にも自然にもやさしい商品づくりを目指す

カフェ「はあぶ工房Together」では、自家ハーブ園で栽培したハーブを使用したハーブティーと素材にこだわったふわふわシフォンケーキ、その他オリジナルピザなどのカフェメニューを味わうことができます。

お店自慢のフレッシュハーブティーはカフェのガーデンで栽培されたハーブを摘み取り使用するため、新鮮で香りがよく、飲みやすい逸品です。

手づくりシフォンケーキはその味と品質が認められ、2016年に開催された伊勢志摩サミットの「配偶者プログラム」で各国首脳配偶者に振る舞われました。「サミットブランド」として世界にはばたけたことは、共に働く障害のある人達の誇りと希望に繋がりました。またそれを契機に「三交特選グルメセレクション2017」の三重特集でもギフトとして選定されています。

多度みかんプロジェクト

2015年からは、高齢化で管理が難しくなった桑名市多度地域のみかん園を活用し、「無農薬・化学肥料不使用」のみかんを栽培しています。収穫後、熊野の加工場まで運び、皮は除いて実だけをジュースに加工してもらい販売しています。みかんジュースは、720mlのビン1本に約17個分のみかんを搾汁している贅沢な無添加100%ストレートジュース。苦味がなく、ミカンの濃い味が楽しめます。この商品は、シフォンケーキと共に桑名市のふるさと納税の返礼品としても採用されています。

こだわりの自家製ハーブティーやふわふわシフォンケーキ、みかんジュース、商品の詳細はQRコードからご確認ください。

店内では、ハーブ農園で収穫したハーブを活用したブレンドハーブティーや料理に使用できるハーブオイル、乾燥させたハーブを入れた香り袋やハーブバスなども販売しています。また、グランドピアノがあるカフェスペースは音楽ライブや作家さんのアート、工芸品などのギャラリー展、ものづくり体験教室を実施するなど、地域で活動している人の発表の場としても活用されています。

NPO法人はあぶ工房Together理事長の坂井さんは「みなさんに愛される安全な商品を丁寧に作っていくことがまず一番大事。これから活動を続けていくためにも、販路を拡大、定着させていきたい」とお話されていました。

NPO法人 はあぶ工房 Together

カフェ営業時間
火曜～土曜 9:45～17:15

定休日
日曜・月曜

〒511-0867 三重県桑名市陽だまりの丘 7-1706

TEL 0594-32-5216

FAX 0594-32-5216

Mail info@herb-kobo.com



心の病・精神に疾患がある方たちが
自分の症状や能力に合わせて、
働ける場所が必要だという想いから
団体が立ちあがりました。
ハーブやみかんの栽培、収穫、製品化、
販売、接客と働ける場をつくり、
一般雇用で働きづらさを抱える方の
社会参加と自立支援をサポートしています。



NPO法人津市NPOサポートセンター

ボードゲームスペース SANTAS

2017年4月にボードゲームスペース「SANTAS(サンタス)」がオープンしました。ここは、家族、友人、初対面の人同士など、さまざまな方が、年齢や立場に関係なく、楽しく遊びながらコミュニケーションをとるための手段として、ボードゲームを活用しています。



好きなことでつながる、新しい交流の場

「SANTAS」を運営しているのは津市のNPO法人津市NPOサポートセンターです。「場所にとらわれない、趣味や嗜好などでつながる新たなコミュニティがいくつも生まれる場として活用してもらいたい」という想いを込めてサンタスを運営されています。

現店舗の大家さんから、「この空き店舗を地域のために使ってほしい」という相談があったことがはじまり。津市NPOサポートセンターが運営するコミュニティ&コワーキングスペース「kaidan」で週に1回実施していた人気企画「ボードゲームBar!」を分離させ、新店舗で新たにスタートしました。店舗の改装は、クラウドファンディングで資金調達に成功し、大工さん・ボランティアの方と協力し実施しました。

現在利用登録している方は、20代～30代の方が半数を占めていますが、親子連れから70代の方まで幅広い年代の方が来店されるそうです。



初心者でも安心

約300種類以上の国内外のボードゲームが用意されています。海外のめずらしいものから人生ゲーム、オセロ、トランプなど親しみやすいものまで幅広く揃っています。

親子向けのゲーム、初心者向けのゲームなど、参加者にあわせたゲームを提案してもらえるので、初心者でも楽しく体験することができます。ボードゲームが気になる方や、新しく趣味を見つけた方、一度「SANTAS」を訪問してみたいかたがでしようか。



ボードゲームスペース SANTAS (サンタス)

〒514-0028 三重県津市東丸之内16-3

TEL 059-202-2884

Mail santas@tsushimin.org



営業時間

月・木・金 … 17:00~22:00
土曜 … 13:00~22:00
日曜 … 10:00~17:00
祝日 … 10:00~17:00
または
13:00~22:00

定休日

火曜・水曜

利用料金

【平日】

一般 … 300円/1時間(遊び放題:1,500円)
学生 … 200円/1時間(遊び放題:1,000円)
12歳以下 … 100円/1時間(遊び放題:500円)

【土・日・祝日】

一般 … 400円/1時間(遊び放題:2,000円)
学生 … 300円/1時間(遊び放題:1,500円)
12歳以下 … 200円/1時間(遊び放題:1,000円)

子どもの未来応援寄付金

東海労働

金庫と特定非営利活動法人

みえ NPO ネットワークセンターが

協働し、県内の「子どもの健全育成」に取り組む市民活動団体の事業実施の一助となるよう、“東海ろうきん「子どもの未来応援寄付金」”を実施し、多くの団体からご応募いただきました。その中から3団体が選定され、2017年12月17日（日）弊センター主催の「協創シンポジウム」にて贈呈式が行われました。

今回は選定された3団体「特定非営利活動法人

くわな発達支援塾」「特定非営利活動法人

JAMBOF」「ホーム医療ケアプロジェクト」をご紹介します。

東海ろうきん

「子どもの未来応援寄付金」とは？

働く人の「助け合い」「支え合い」の活動を金融面から支援し、働く人やその家族、地域を元気にする「生活応援運動」を社会的使命としている東海労働金庫が、NPO など市民公益活動団体と協働して地域課題解決に取り組む活動の一環です。

特定非営利活動法人

くわな発達支援塾

☎ 080-4534-5250

✉ npo.kuwana@gmail.com

🌐 <https://www.facebook.com/kuwana.shienjuku/>

代表者 山本 将士さん

団体設立 2016年10月

会員数 正会員10名 利用会員12名

当法人は、軽度発達障がいがあり、小学校で勉強や運動、コミュニケーションにつまずきのある子どもの特性に合わせた指導をおこなう支援塾です。

療育の場が少ない現状において、子どもの支援の場を少しでも増やしたいとの思いで、心理士や教員が集まり発足しました。

●教育支援事業

個々人に合った学習支援や運動支援、社会性の形成支援などを行っています。講師は、現役のスクールカウンセラーや小学校支援員、保健体育教諭で全員が心理資格（臨床心理士、学校心理士など）を持つ専門家です。特別な教育的ニーズを求める子どもたちに対して、迅速な支援が受けられる環境づくりを進めています。また、保護者に対しての相談や研修会（グループカウンセリング、ペアレントトレーニング）を行うことで、家庭環境を整えることも重視しています。

●支援・啓発事業

ニュースレターの発行や桑名市教育委員会を通して桑名市内の小学校全児童（保護者）へ向けたチラシ配布などを行っています。

- 成果・展望 -

2017年7月に桑名市内の小学校全児童に無料体験会のチラシを配布したところ、定員を大幅に超える25名の予約がありました。この結果から、桑名市内の学校で苦戦をしている児童はかなり存在していると思われます。支援の場を整備していくことで、子どもたちや保護者の負担を軽減し、将来への展望を飛躍的に明るくすると思います。



特定非営利活動法人

JAMBOF (日本ミャンマー友情の架け橋)

〒515-0101 三重県松阪市東黒部町 553
0598-59-1586
takemori@mctv.ne.jp (副理事長 竹守 伸一さん)
http://jambof.main.jp

代表者 尾花 隆司さん

団体設立 2003 年 2 月

会員数 60 名

ミャンマー北部のカチン州ミッチーナ市を中心に、様々な交流活動や支援活動を行ってきました。

2000 年から 2004 年の間に小中学校 4 校を建設しました。

2008 年サイクロンで被災したミャンマー南部ヤンゴンで現地のボランティア団体と連携し被災支援に取り組み、破壊された小学校を新しく建設しました。

2013 年からは孤児院の他、貧困のために公立学校へ通えない子どもたちを救済する僧院学校を支援して、鉛筆・ボールペンを届ける運動を行っています。

また 2016 年、ヤンゴン市に移動図書館を発足させました。ミャンマーには子ども向けの本が少ないため、日本の絵本を送り、それを翻訳して子どもたちのもとに届けています。現在専用車で僧院学校など 6 か所を巡回しています。

また、毎年年末にはボランティアツアーを実施して、現地の青年・子どもとの交流を行っています。

地元、松阪市内等においてミャンマーフェア、ミャンマーバザールを開催し、ミャンマーの現状や移動図書館活動の様子を広く市民に伝え、協力を呼びかけています。

- 成果・展望 -

私たちは移動図書館の発足以来 500 冊程、日本の絵本を届け続けていますが、今年は新たに絵本 200 冊を送って移動図書館の蔵書を増やし、巡回場所や地域をさらに広げていきたいと思っています。



ホーム医療ケアプロジェクト

090-5537-6717
goyama43@yahoo.co.jp

代表者 小山 隆幸さん

団体設立 2016 年 9 月

会員数 10 名

ひとや社会とつながり、誇りを持って暮らし、一人ひとりが輝ける地域づくりを目指すことを理念としています。

障がいがあっても地域社会で暮らしていけるようにと 2016 年 9 月に任意団体「こども在宅とリハビリテーション・ケアについて考える会」を設立しました。誰でも参加ができる勉強会や交流会の開催をしています。また、障がいがある子どもの保護者の方と施設見学も行いました。交流会は障がい者スポーツやバーベキュー、プラネタリウム鑑賞等の体験活動となっています。「できる」「楽しい」体験を通して、社会参画のきっかけとなる活動に取り組んでいます。痰吸引や経管栄養などの医療的ケアが必要な方はご家族の方も一緒に参加しています。

2017 年 5 月には、より地域の中で活動していきたい想いから団体名を「ホーム医療ケアプロジェクト」に変更して活動に取り組んでいます。

- 成果・展望 -

障がいがある方、難病の方を支援する人たちとのつながりを深め、地域で支える基盤となることを願っています。また活動の参加を通して家族で楽しく外出するきっかけづくりとなることを目指しています。



3. すべての人に健康と福祉を

の話

3 すべての人に健康と福祉を



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

あらゆる年齢のすべての人の健康な生活を確保し、福祉を推進することは持続可能な開発に欠かすことができません。SDGs の目標にあった「幼児死亡率の引き下げ」「妊産婦の健康状態の改善」「HIV/ エイズ、マラリア、その他の疫病の蔓延防止」について着実に取り組みの成果は出ていますが、完全に目標を達したとは言えません。SDGs ではこれらの健康や福祉に関するターゲットの他に、新たなターゲットも加え、「目標 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」として目標とターゲットを設定しています。

1990 年以降、1 日あたりの子どもの死者は大きく減少しているものの、現在も毎年 600 万人を超える子どもたちが 5 歳の誕生日を迎えることなく命を落としている現状があります。そしてこの 5 歳未満で命を落とす子どもの 5 人に 4 人はサハラ以南のアフリカと南アジアで暮らす子どもたちです。

また、妊産婦の死者数も全世界で半減しているというものの、開発途上地域の妊産婦死亡率は依然として先進地域の 14 倍にも上ります。

そして HIV 新規感染は 2013 年時点で 2001 年水準を 38% 下回っていますが、24 万人の子どもが新たに HIV に感染しています。

健康と福祉の増進には近年著しい進歩がみられてはいますが、医療へのアクセスの不平等は残ったままです。開発途上地域では子どもたちの命が危険にさらされているだけでなく、女性の半数が必要な医療を受けられていません。このように差別などによって人々が健康で生産的な生活を送るために必要なサービスを受ける能力が制限されれば HIV/ エイズや疫病も蔓延してしまいます。

また、SDGs のターゲットの中には「道路交通事故による死傷者を半減させる」「薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用の防止・治療を強化する」なども加えられています。

健康と福祉を得ることもすべての人に与えられた権利であるはずですが。

これら新旧の多様な健康問題に対処するためには、今後より一層の取り組みが必要になると考えられます。

3 すべての人に健康と福祉を



三重の数字

15 か所

三重県内には薬物依存に関する相談機関が 15 か所あります。(病院等依存症に関する総合的な相談機関を含む)

参照：依存症社会資源情報（三重県こころの健康センター 平成 29 年 10 月）

現在三重県では病院を始めとした相談窓口でさまざまな依存症に関する相談が実施されているほか「三重県アルコール健康障害対策推進計画」が策定されるなど、健康に関する取り組みが進められています。

地域で取り組まれている課題の先には世界の課題があり SDGs の掲げる 17 のテーマと密接に繋がっています。

今回は三重県で依存症に関する取り組みを行っている団体の中でも特に薬物への依存からの回復に関わる課題を解決するために活動している「三重ダルク」の取り組みを紹介します。

団体の設立について

「三重ダルク」は依存からの回復を目的としたリハビリセンターです。現在ではアルコール、ギャンブルなどの依存症の方が利用されています。

【ダルクとは】

ダルク（DARC）とは、ドラッグ（Drug＝薬物）のD、アディクション（Addiction＝嗜癖、病的依存）のA、リハビリテーション（Rehabilitation＝回復）のR、センター（Center＝施設）のCのことで、あらゆる薬物から解放されるためのプログラムを提供する民間の薬物依存症リハビリ施設です。現在は、アルコール、ギャンブルの問題を持つ方にも対応しています。

団体の活動について

依存症になってしまう理由にはさまざまな要因があると言われています。幼少期の虐待や犯罪の被害者、震災による PTSD、またはなんらかの障がいがあり社会になじめないなど、多様な要因があります。そういった方たちは生きていくために、自己の尊厳を低く見積もり、まさに身を削りながら必死になります。そして社会や人への信頼がなかなか持てず、誰にも助けを求めることができない状況で心の傷と闘いながら頑張りすぎてしまいます。尋常ではない不安・恐怖をやわらげ心の傷を補うためにアルコールやギャンブル、薬物などに頼ってしまいます。

ダルクではそういった方達に、「自立して生きていく」ということをサポートしています。依存症回復のためのセラピーやグループミーティング、入居施設の提供、就労の支援などさまざまなことを実施し、当事者による「自治、自助」のサポートといった形で携わっています。

自分たちで気づき、考え、対策をし、同じような境遇の仲間と共にお互いを支えていく、自分のことを話すことにより自身の気持ちも整い、周りの人にとっては回復者のモデルとなります。

回復した人たちをそばで見ながら、この人みたいになりたいと自分の未来に対してビジョンが浮かびます。その人に話を聞き、自分の場合はこうだった、回復するためにこんな努力・工夫をしたということをお教えしてくれる、そういったオープンで支え合うことで、自分や周りの仲間の尊厳もぐんと高まっていきます。

三重ダルクは自分の物語を振り返り、再構築し成長できる安心な場所でありたいと思います。



団体情報

特定非営利活動法人 三重ダルク

〒514-0004 三重県津市栄町3丁目130

TEL/FAX：059-222-7510

Mail：miedarc@zc.ztv.ne.jp

団体設立：1999年

NEXT ISSUE

4 質の高い教育を
みんなに



次号ではSDGsが掲げる17のテーマから「4. 質の高い教育をみんなに」を特集します。

NPOで働くみなさんへ

IT が苦手だけど、少し頑張ってみる NPO の共感と信頼を得る IT ツール

中間支援の仕事をしていると多くの NPO の方から「パソコンが苦手」「IT が苦手」というお話をお聞きます。いつももったいないなあと思うのが、「苦手」＝「できない・やらない」という選択を取られる方が多いこと。皆様が目指すより良い地域や社会を実現するためには「苦手なりに必要な範囲でできることをやっていく」という選択も必要ですね。ちょっとだけ頑張って、団体の共感や信頼のアップを目指しましょう。



QR コードを作成し、 ホームページなどにアクセスしやすくする



今回のテーマは「QR コード」です。みなさま、QR コードってご存知ですか？そう。左のような、正方形の形をしたものです。これをスマートフォンなどの携帯電話で読み取ると、指定されたホームページなどを閲覧することができます。チラシやパンフレットなどに見てほしいホームページや申し込みフォームの QR コードを挿入することで、いちいち URL を打たなくても、簡単にそのページを表示させることができます。特にパソコンをあまり見ずに、スマートフォンで情報収集する若者世代には効果的です。

QR コードの作成はとても簡単。インターネットで「QR コード 作成」と検索すると、無料で QR コードを作成できるホームページが出てきます。アクセスしやすい入り口をつくって多くの人に PR しましょう。

三重県からのお願い

(三重県災害ボランティア支援及び特定非営利活動促進基金) 災害ボランティア活動への寄付をお願いします！

三重県では、南海トラフ地震等の大規模な災害の発生が懸念されています。

大規模な災害が起こると、避難生活が長引くことなどから、被災者は様々な困難に直面し、心のケア、子どもの遊び支援、各種相談など、多様なニーズが発生します。

このようなニーズにきめ細かく対応するため、様々な分野のボランティアによる、日頃の専門的知識やノウハウを生かした支援活動が期待されています。

三重県では、こうした活動を支援するため、「三重県災害ボランティア支援及び特定非営利活動促進基金」を設置し、大規模災害時に備えています。

基金では、皆さまからいただいた寄付を活用し、県内外の災害発生時に、継続的な支援活動を行う団体に対し、その活動の財源として 30 万円を上限に活動経費を補助します。

皆さまからの寄付が被災地・被災者の支援へとつながります。

災害からの一刻も早い復旧復興のため、皆さまのご協力をお願いいたします。

※詳細は、三重県のホームページをご覧ください。

三重県 NPO



<http://www.pref.mie.lg.jp/NPO/>

お問い合わせ先

三重県環境生活部ダイバーシティ社会推進課 NPO 班

TEL 059-222-5981 FAX 059-222-5984 Mail seiknpo@pref.mie.jp



NPO の労務について

労働者とボランティアの違いは？

NPO では労働者とボランティアの区分をはっきりさせることが必要となります。労働者とは事業所や事業に使用される者で賃金を支払われる者をいいます。ボランティアは自発的に活動し、活動の対価として謝礼は受け取らないものとされています。あらかじめ本人と確認することが求められます。

ボランティアの事故などについて補償する保険は？

民間の保険会社にあります。ボランティア活動中または活動先への往復途中で事故にあった場合などには「ボランティア保険」また、イベントに参加した人の事故などには「ボランティア活動等行事保険」に加入することで補償を受けることができます。三重県では仲介窓口として社会福祉協議会などが行っています。

雇用するときに書面で示す必要はありますか？

賃金や労働時間など労働条件を明示し、書面による表示内容は就労期間、就労場所・時間・休日、賃金の決定、計算方法や支払方法、退職についてなどとなっております。雇用契約書を書面で交わすこととなっております。(労働基準法) 口約束だけではトラブルがおこる可能性があります。さらに就業規則などでよりルールを詳しく決めておくことが望まれます。

理事に給料は出せますか？

理事の方でも、何らかの仕事を行っているのであれば支給することができます。

「役員総数の3分の1しか役員報酬を支給してはいけない」の規定はありますが、職員として働いていることで労働の対価として制約なく金銭を支給することが可能です。

理事が労働保険や社会保険の被保険者になれますか？

理事をされておられる方が職員を兼ねて給与をもらっている場合などは労働保険の被保険者となることができ、イベント活動中など労災保険での治療費、休業補償などの給付を受けることができます。また、1 か月以上の期間、週 20 時間以上の就労で雇用保険の被保険者にもなります。(ただし理事長の場合は被保険者となることができません)

社会保険(健康保険・厚生年金保険)は常用雇用者として、またその1日または1か月の就労時間の四分の三以上の勤務をし1年以上の雇用見込みで被保険者となります。(社会保険には理事長も条件を満たせば被保険者となります)

詳しくは社会保険労務士、労働基準監督署などでご相談ください。

稼ぐ NPO 利益をあげて社会的使命へ突き進む

発行元：カナリアコミュニケーションズ

著者：後 房雄 / 藤岡 喜美子

発行年月日：2016 年 5 月 31 日 初版第 1 刷発行

本書はまず NPO をコミュニティ(ボランティア)型 NPO と稼ぐ NPO(事業型 NPO)の2つに区別し、それぞれに経営や支援の在り方が違うと考えます。

筆者のコンサルティング経験から NPO 経営において最も重視すべきは、社会的課題や地域や社会をこうしたいという、目標である「ビジョン」、その目標のために団体はどういう役割をするかという「ミッション(使命)」の設定です。

ミッションやビジョンがあれど、表現が硬かったり抽象的であったりして、具体的なイメージがし難く、形骸化している NPO も多くあります。そのため、ゴールが見えない、何をしているのかわからない団体は、地域や協力者に理解を得られにくだけでなく、組織の土台となる共通理念が脆弱になりうると感じました。本書の事例の中でも、明確なビジョンやミッションが、外部への吸引力となり助け合っている団体や、

次世代へのバトンがつなぎやすくなった例などが紹介されています。

また、明確なビジョンが設定されていれば、筆者が開発、推奨する2つのツールが活用できます。

1 つ目は、ビジョンから成果を考え事業を作る「ロジック・モデル・シート」により全体像を視覚化し、事業の有効性が検証できます。2 つ目は、事業の持続的な収入構造を考える「ビジネス・モデル・シート」によりどのようにして資源提供者への吸引力=価値を提供し、資源を引きつけるかを分析するツールです。

この2つのツールは、本書が今後の稼ぐ NPO としての3つのモデル「寄付・ボランティア型」、「市場型」、「公共サービス型」を併用して経営、事業展開していく上で指標であり経営ツールであると紹介されています。思いを形にするために、まずは「ビジョン」を「言葉」にしてみませんか？

募集 と ご案内

イベント情報



春のバードウォッチング ～野鳥に関心のある方・初めての参加OK～

新緑のきれいな季節に上野森林公園を歩いて、野鳥の声を楽しみませんか。この時期は野鳥の繁殖期なので早朝には野鳥がよくさえずります。早起きの苦手な方は、少し遅い時間帯に木々の新緑や花や虫も楽しみながら、お散歩気分で野鳥を探してみませんか。

日時 2018年5月6日(日) ①6:00～8:00 ②8:30～10:30

①・②両方、またはどちらでも申し込み可能

集合場所 三重県上野森林公園 ビジターコテージ 研修室 (伊賀市下友生1)

定員 各25人(定員に達し次第締め切ります) **参加費** 無料

募集期間 4月1日(日)～4月22日(日)

持ち物 あれば双眼鏡や図鑑、筆記用具、水筒、雨具
①②参加の方は朝食等(雨天などの場合は室内でお話となります)

申込み 住所、氏名、年齢、電話番号、FAX番号
Eメールアドレスを明記の上、Eメール、FAX
ホームページ登録フォームからお申し込みください。

主催 三重県上野森林公園/日本野鳥の会三重/三重県環境学習情報センター

主催・問合せ・申込み先

三重県上野森林公園
〒518-0817 伊賀市下友生1
TEL: 0595-22-2150
FAX: 0595-22-2151
E-mail: ueno@mie-mori.jp
HP: <http://mie-mori.jp/ueno/>

ボランティア情報



三重チャレサポーター募集! 小・中・高校生の「はじめの一歩」をサポートします!

いま、行動してみよう。大学生、社会人、主婦の方など、どなたでも参加OK! 地元企業経営者や学校の先生たちとともに、三重チャレをサポートしていきましょう!

【活動時間】H30年の夏休みに実施。

- ・お申込み頂いた方には、随時三重チャレサポーターとしての役割についてご説明いたします。
- ・詳しくは、アトリオHPの三重チャレバナーをご覧ください。

NPO法人 a trio 三重チャレ事務局

〒514-1125 津市久居元町2361-2 MC第一ビル

TEL: 059-253-7657 FAX: 059-253-7659

E-mail: atrio@a-trio.net HP: <http://kyoiku-csr.com>

津市白塚海岸清掃ボランティア募集! お一人様でもグループでの参加も大歓迎です。

伊勢湾内に広がる自然豊かな砂浜・白塚海岸は、波打ち際から堤防まで140m長さ800mの長方形の砂浜海岸です。この自然豊かな砂浜を流域下水道の終末処理場にするのではなく、砂浜特有の生き物たちが生きていける砂浜として、天然の浄化槽として未来に残していきたいと、活動を行っております。

【活動日時】第三日曜の午前9時から

- ・清掃後は、地元のお母さんたちの手づくり料理がいただけます。
- ・ボランティア保険等は自己負担をお願いします。

白塚の浜を愛する会

〒514-0101 津市白塚町1208

TEL: 090-7605-2102 E-mail: iratukanohama

HP: <https://siratukahama.jimdo.com/>

担当: 代表 西口

みえNPO基金（仮称）勉強会を終了しました

みえNPO基金（仮称）勉強会では、12月に松井真理子さん(ささえあいのまち創造基金)と近藤順子さん(市民活動応援☆きらきら基金運営委員会)を、1月には山田健一郎さん(佐賀未来創造基金)を講師に迎えてお話を伺いました。そして2017年度最後となる2月15日の勉強会では、いま三重に必要な基金の形についてディスカッションを行いました！

みえNPO基金（仮称）勉強会とは…

NPO等の市民活動団体に対し資金的支援を中心に行う「みえNPO基金（仮称）」の設立を目指した勉強会です。2017年度は、三重県としてどのような基金の設置が有効なのかを考えるため、他地域の取り組みを勉強してきました。2018年度勉強会は日程が決まり次第募集を開始します。ご興味のある方はぜひご参加ください。

NPO相談 講座を行いました

市民活動やNPO法人に関わってみたい！と考えている方のための講座を行いました。1月は、NPOの基礎的な知識や法人の運営について学びました。そして2月は、NPO法人の会計・税務・労務についての基礎知識を学びました。3名の講師が初心者にもやさしい具体例を交えながら押さえるべきポイントを解説する本講座には、のべ40名の参加者が訪れました。



【会計】黒田朱里さん



【税務】奥山晋也さん



【労務】池田幸代さん

SHOガッコウ 講座を行いました

三重の若者同士のつながりを大切にする「SHOガッコウ」では、3月に3回の講座を行いました。12日には岡田大輝さんを迎え、「三重大学版TED」についてのワークショップやプレゼンテーションを体験しました。14日には岐阜のハートフルスクエアGにて、竹内ゆみ子さん、西井和裕さん、神田浩史さんを講師に、NPO・NGOの必要性、意義について考えました。21日には、小山田奈央さんをファシリテーターに、ここ最近のわたしを振り返り、これからどう過ごしていくかを考えるワークを行いました。

東海市民社会ネットワーク 研究会を行いました

3月4日、東海市民社会ネットワークでは「政策協働について考える。」と題した研究会を開催しました。NPOと行政、企業等がどのように「協働」しているのか。その事例の発表を聞き、発表者・参加者を交えてディスカッションを行いました。

【全ての問い合わせ先・申し込み先】

〒514-0009 津市羽所町700 番地アスト津 3階
TEL : 059-222-5995 FAX : 059-222-5971
E-mail:center@mienpo.net URL : <http://www.mienpo.net/center/>

ソリマチのNPO法人様専用 会計ソフト！
会計王 18 NPO
最新のNPO会計基準に対応、改正があった場合も迅速対応！
活動計算書・財産目録・財務諸表の作成もかんたん作成！
電話サポート・製品Q&Aなどみんなのサポート体制をご用意！
みえ市民活動ボランティアセンターでご購入できます！
ご購入に関するお問い合わせはこちらまで TEL 059-222-5995

みえぎんNPOローン 新商品
委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として
最高1,000万円まで無担保で融資！
対象：三重銀行の三重県下支店エリア内に主たる事務所を有するNPO法人
※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。
詳しくはTEL059-354-7130（審査部）まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>

三重県の新名物
伊勢おやき本舗
年齢、国籍、性別、障害の有無にかかわらず
ともに働き、ともに成長する「ユニバーサル就労」の店
イベント出店、ご当地おやきの開発など、各種御相談に応じます。
四日市市諏訪栄町 3-4 TEL/FAX 059-355-5115 ssk21ww@yahoo.co.jp

助成金情報

助成金情報はみえ市民活動ボランティアセンターホームページでも多数ご紹介しております

① 締め切り・募集期間 ② 対象 ③ 助成金額／表彰内容

安藤スポーツ・食文化振興財団 2018年度自然体験活動支援事業 「第17回トム・ソーヤースクール企画コンテスト」

- ① 5月17日（木）必着
- ② 自然体験、地域交流、環境教育、史跡探訪、自然探検、アウトドアスポーツ等、子どもたちの健全な心身の育成に寄与する団体
- ③ 各賞10万円～100万円＋チキンラーメン3ヶ月～1年

みずほ教育福祉財団 第34回「老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業」

- ① 5月25日（金）必着
- ② 高齢者を対象とした生活支援サービスや地域環境の改善等につながる活動に取り組むグループ
- ③ 1グループ10万円（110グループ）

毎日新聞社会事業団 第48回「毎日社会福祉顕彰」

- ① 5月31日（木）必着
- ② 社会福祉全般あるいは児童、高齢者、心身障害者などの分野で優れた功績をあげ、社会福祉の発展向上に貢献している団体、個人
- ③ 賞牌と副賞100万円（総額300万円）

国立青少年教育振興機構 平成30年度子どもゆめ基金／子どもの体験活動・読書活動助成（二次募集）

- ① 5月1日（火）～6月19日（火）消印有効
- ② 子どもの健全な育成を目的に、子どもの体験活動や読書活動の振興に取り組むNPO法人等
- ③ 1団体の上限（目安）：全国規模300万円、都道府県規模100万円、市区町村規模50万円

ヨネックススポーツ振興財団 平成30年度助成金

- ① 6月20日（水）当日消印有効
- ② 青少年スポーツの振興に関する事業を積極的に取り組むNPO法人等
- ③ 1団体の上限100万円（事業予算の1/2以内）

編集後記

今年で特定非営利活動促進法が施行されて、20年を迎えます。20年前と今とでNPOの取り巻く環境はどのように変わったのでしょうか。20年経ったいまでも、「NPO＝稼いではいけない」というイメージが、私の周りでは根強く残っているように感じます。「非営利」とは、利益を会員などの構成員に分配してはいけないことを指します。商品やサービスを提供し、お金をいただき、収入を得て、利益をあげることは、NPOでも企業でも変わりません。NPOは地域社会の課題解決を行うために活動しています。人の生き方が多様化すると共に、課題も多様化しています。複雑に絡み合った課題を解決するのは、一朝一夕ではできません。個人の財布の中身だけで解決するのも難しいですし、休みの日の空いている時間だけで解決…というのも難しいです。活動費を稼ぎ、専任スタッフを置き、課題を解決していく。NPOこそ、地域のために稼ぐ必要があります。（川北）


特定非営利活動法人
（2017年12月10日～2018年3月9日認証分）

①法人名②主たる事務所の所在地
③活動分野④認証年月日⑤代表者

- ①NPO法人 プラグ
- ②亀山市アイリス町13番地67
- ③保健、まちづくり、地域安全、子ども、障がい者の自立と共生社会
- ④2018/1/4
- ⑤理事長 吉田 和由

- ①特定非営利活動法人 Kinoko Japan
- ②津市乙部32番地4号アンセーヌメゾン7号
- ③農山漁村・中山間地域、環境、国際
- ④2018/2/26
- ⑤理事長 石井 康文

- ①特定非営利活動法人 松阪歴史文化舎
- ②松阪市駅部田町1444番地
- ③社会教育、まちづくり、観光の振興、学術、経済活動
- ④2018/1/26
- ⑤理事長 門 清



転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者：みえNPOネットワークセンター」に連絡してください。

READERはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】（津市）みえ市民活動ボランティアセンター／津市市民活動センター／三重大学／看護大学／三重短期大学／高田短期大学（桑名市）桑名市市民活動センター（いなべ市）いなべ市市民活動センター（東員町）とういんボランティア市民活動支援センター（四日市市）四日市市なやプラザ／四日市大学（亀山市）亀山市市民協働センター（鈴鹿市）市民ネットワークすずかのぶどう／鈴鹿大学／鈴鹿医療科学大学（松阪市）松阪市市民活動センター（伊勢市）いせ市民活動センター／皇学館大学（志摩市）阿児アリーナ／横山ビジターセンター（名張市）名張市市民活動支援センター／エコリゾート赤目の森／名張市立図書館／名張青年会議所／名張市総合福祉センター（伊賀市）伊賀市市民活動支援センター／伊賀市立図書館／伊賀青年会議所（尾鷲市）東紀州コミュニティデザイン（明和町）めいわ市民活動サポートセンター（南伊勢町）南伊勢町町民文化会館（紀宝町）紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店／第三銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店／県下JAバンク各店／メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール／三重県地域機関（地域防災総合事務所〔桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊賀〕地域活性化局〔南勢志摩、紀北、紀南〕）／三重県栄町庁舎（情報公開窓口）／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／三重県立こころの健康センター／斎宮歴史博物館／MieMu（三重県総合博物館）／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター『フレンティみえ』／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／三重県立熊野古道センター／各市町役場／各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

東海ろうきん
健康・安心・貢献

JAバンク三重

株式会社
阪本事務機



環境にやさしい植物油インキを使用しています。